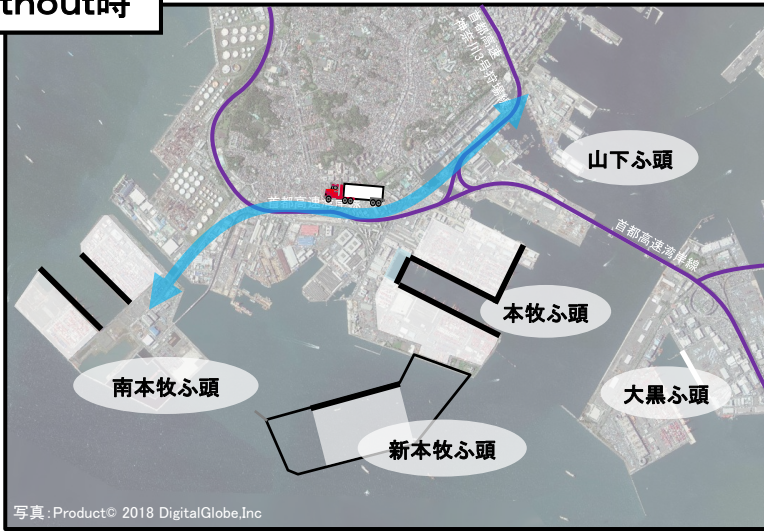


横浜港南本牧～山下ふ頭地区 臨港道路の整備

横浜港におけるコンテナターミナル拡大に伴う臨港交通の増加に対して効率的な物流機能を確保し、並行する一般道路の混雑緩和を図るとともに、大規模災害時におけるリダンダンシーを確保する。

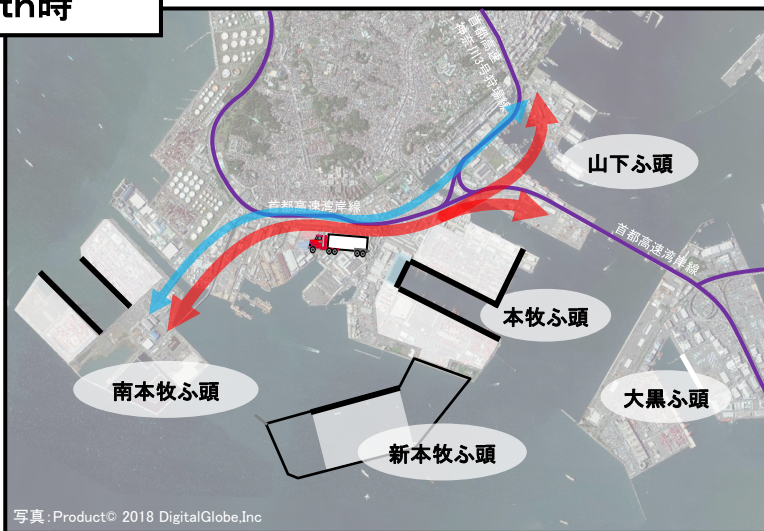
Without時



走行時間費用	2,943.3億円/年 (R22年)
走行経費	599.9億円/年 (R22年)
事故損失	74.1億円/年 (R22年)

- ・並行する臨港道路利用
 - 輸送時間が長く輸送時間コスト大
 - 混雑・環境の悪化
 - 事故発生確率が大

With時



走行時間費用	2,836.7億円/年 (R22年)
走行経費	591.7億円/年 (R22年)
事故損失	73.8億円/年 (R22年)

- ・臨港道路の交通が新規道路へシフト
 - 輸送時間短縮・輸送時間コスト小
 - 混雑・環境の改善
 - 事故発生確率が小

輸送コスト削減額
115.1 億円/年 (R22年)

走行時間費用削減効果	106.7億円/年
走行経費削減効果	8.2億円/年
事故損失減少効果	0.3億円/年